

2018年4月19日

課題名：EGFR 遺伝子変異陽性進行再発非扁平上皮非小細胞肺癌におけるEGFR-TKI
治療前後のPD-L1発現状況および耐性機序との関連を検討する後向き研究

◆研究の目的と概要◆

本研究は、肺癌について腫瘍細胞を調べることによって、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

これまでの間に、EGFR 遺伝子変異陽性の進行・再発非扁平上皮非小細胞肺癌であると診断された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

検査で採取された腫瘍組織

◆研究方法◆

上記腫瘍組織の保存検体を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して郵送で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

近畿大学医学部内科学腫瘍内科講座が主体となって実施しており、全国6施設が参加しています。

主体のホームページ <http://www.med.kindai.ac.jp/shuyounai/ken/k14.html>

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

呼吸器内科 研究責任者 横山 俊秀

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明